



地震による津波、豪雨による河川氾濫や水害、土砂災害。皆さんの暮らす日向市で想定される自然災害です。このような災害が発生したとき、高齢者や障害当事者、乳幼児など一人では避難が難しい人がいます。そのような人々を誰一人取り残さず命を守るという考えを「インクルーシブ防災」といいます。地域の皆さんの力で、地域に暮らす皆さんの命をどう守れるのかハザードマップを使いながら考えるワークショップです。

**地域の皆さんの力で
地域の皆さんの命を守る方法を考えませんか**

わが町のインクルーシブ防災 ワークショップ

2025年**11月10日(月)**14:00~17:00(予定)

会場
日向市文化交流センター
3階・会議室

定員：50人
参加費無料



- ・第1部：話題提供
**「逃げ遅れる
障害者・高齢者等」**
- ・第2部：ワークショップ
**わたしのまちの
ハザードマップ
アップデート**

参加申込は
こちらから



問い合わせ

社会福祉法人 風舎「防災ワークショップ」係
TEL：0982-50-0260 FAX：0982-50-0261
E-mail：fu-sha@fusha.jp

【主催】NHK厚生文化事業団

【共催】(社福)風舎

【後援】日向市

ワークショップキャラバン「わが町のインクルーシブ防災in 日向」

内容（2部構成）

話題提供 「逃げ遅れる障害者・高齢者等」

講師：^{あおた よしゆき}青田 由幸（NPO法人さぽーとセンターぴあ 代表理事）

東日本大震災にともなう福島第一原発事故後、福島・南相馬市から避難できなかった障害当事者や高齢者などの避難行動要支援者の支援を行った

ワークショップ 「避難行動要支援者の避難と地域ハザードマップアップデート」

進行：^{みずたに まこと}水谷 真（AJU自立の家・障害者就労支援事業所わだちコンピュータハウス）

AJU自立の家＝名古屋市で活動する障害当事者団体。2000年の東海豪雨災害で当事者たちが被災した経験から、当事者自身による災害対策に力を入れているグループ

地域のハザードマップを活用しながら、災害時、危険地域に暮らす避難行動要支援者の安全をどう確保し、どうやって避難できるのかを考えるワークショップです。

ワークショップの目的は正解を出すものではなく、ある非常事態を想像することで、様々な状況や対応を考えるきっかけになります。また、その人の立場や状況によって多様な考え方があることや、これまでの経験から得られた地域の皆さんが持っている知見を出し合うことで、紙上では見えないハザードマップの落とし穴などを探り、活きたマップへのアップデートと、これまで気づかなかった防災や避難方法を考える機会となれば幸いです。

----- 下記に必要事項をご記入の上、Faxでお申し込みができます -----

Fax：**0982-50-0261**（番号はお間違えないよう、じゅうぶんにご注意ください）

よみか				避難行動について、話し合いたい地域 お住まいの地域や職場など、避難するにはどうしたらいいだろうかなど、 ご自身が気になる地区をご記入ください（例）日向市富高
お名前				
連絡先電話番号			Fax	
E-mail				

ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ防災ワークショップのためにのみ使用させていただきます。